

**株式会社 学研ホールディングス
決算説明会**

2012年11月27日

2012年9月期業績概要および 2013年9月期業績見通し

**株式会社学研ホールディングス
常務取締役 中森 知**

2012年9月期業績

(百万円)

2期連続の増収・増益を達成し、年間配当額を5円に増配(前期4円)

	‘10年 9月期	‘11年 9月期	‘12年9月期			前期比 増減額	前期比 増減率
			直前予想	実績	増減額		
売上高	78,105	80,249	80,500	80,659	+159	+410	+0.5%
営業利益	1,818	1,927	2,000	2,245	+245	+318	+16.5%
(営業利益率)	(2.3%)	(2.4%)	(2.5%)	(2.8%)	(+0.3%)	(+0.4%)	-
当期純利益	305	550	1,500	1,536	+36	+986	+179.3%
(ROE)	(1.1%)	(2.1%)	-	(5.5%)	-	(+3.4%)	-

■ 売上高 増加要因

- ・「高齢者福祉・子育て支援事業」でのサービス付き高齢者住宅(サ高住)および保育施設の開業や入居率・充足率伸長による増加

■ 営業利益 増加要因

- ・「教室・塾事業」での不採算事業撤退による利益改善

■ 当期純利益 増加要因

- ・営業利益の増加
- ・前期特別損失発生(震災関連損失、資産除去債務会計基準適用による影響等)の反動

2012年9月期セグメント別業績

(百万円)

セグメント名	項目	'11年 9月期	'12年9月期			前期比 増減額	前期比 増減率
			直前予想	実績	増減額		
教育ソリューション事業	売上高	69,095	68,700	69,190	+490	+94	+0.1%
	営業利益	1,883	2,200	2,454	+255	+571	+30.3%
	教室・塾事業	売上高	20,725	20,942	+542	+216	+1.0%
		営業利益	379	972	+42	+593	+156.3%
	出版事業	売上高	32,538	32,667	△133	+128	+0.4%
		営業利益	1,008	1,032	+62	+23	+2.4%
	園・学校事業	売上高	15,832	15,581	+81	△251	△1.6%
		営業利益	496	450	+150	△46	△9.3%
高齢者福祉・ 子育て支援事業	売上高	2,040	2,800	2,827	+27	+787	+38.6%
	営業利益	141	△200	△190	+10	△332	—
その他	売上高	9,112	9,000	8,641	△359	△470	△5.2%
	営業利益	△74	0	△19	△19	+55	—
調整額	売上高	—	—	—	—	—	—
	営業利益	△24	—	△0	△0	+24	—
合計	売上高	80,249	80,500	80,659	+159	+410	+0.5%
	営業利益	1,927	2,000	2,245	+245	+318	+16.5%

セグメント別業績 ①教室・塾事業

●事業概要

- ・小・中学生を対象にした「学研教室」「CAIスクール」の運営
- ・幼児から高校生を対象にした進学塾の運営
- ・家庭教師派遣サービスの提供 等



↑学研教室の授業の様子



↑進学塾の授業の様子

(百万円)

	‘11年 9月期	‘12年 9月期	増減	増減率
売上高	20,725	20,942	+216	+1.0%
営業利益	379	972	+593	+156.3%
(営業利益率)	(1.8%)	(4.6%)	(+2.8%)	—

●2012年9月期 前期比増減要因

〔売上高〕

- ・学研教室およびCAIスクールの伸長
- ・好調進学塾の校舎開設・生徒数増加による伸長
- ・不採算進学塾の事業撤退による減少 等

〔営業利益〕

- ・進学塾の不採算校舎閉鎖や不採算事業からの撤退による改善 等

セグメント別業績 ②出版事業

●事業概要

- ・取次・書店ルートでの児童書、辞典、図鑑、学習参考書のほか、料理、健康、芸能、歴史、趣味、スポーツなど多岐に渡るジャンルの出版物の発行
- ・医師および看護師などを対象とした専門書の発行 等



↑ 当期話題となった商品

(百万円)

	‘11年 9月期	‘12年 9月期	増減	増減率
売上高	32,538	32,667	+128	+0.4%
営業利益	1,008	1,032	+23	+2.4%
(営業利益率)	(3.1%)	(3.2%)	(+0.1%)	—

●2012年9月期 前期比増減要因

〔売上高〕

- ・美容・健康関連ムックの好調維持
- ・児童書分野の伸長 等

〔営業利益〕

- ・出版物売上の増加による増益

セグメント別業績 ③園・学校事業

●事業概要

- ・幼稚園・保育園向けに、教師用雑誌や園児用絵本の出版物制作・販売、保育用品・備品等の販売
- ・小・中・高校向けに、教科書、副読本、映像教材や体力テストの制作・販売等



↑ 小学校保健教科書



↑ 園向け月刊絵本



↑ 保育備品「できる！をたすけるシリーズ」

(百万円)

	‘11年 9月期	‘12年 9月期	増減	増減率
売上高	15,832	15,581	△251	△1.6%
営業利益	496	450	△46	△9.3%
(営業利益率)	(3.1%)	(2.9%)	(△0.2%)	—

●2012年9月期 前期比増減要因

〔売上高〕

- ・中学校保健体育教師用指導書の売上発生
- ・小学校保健教師用指導書の前期売上発生の反動減
- ・副読本売上の減少

〔営業利益〕

- ・教科書指導書の売上減少による利益減

セグメント別業績 ④高齢者福祉・子育て支援事業

●事業概要

- ・サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）の設立・運営
- ・保育施設の設立・運営 等



↑ココファン西八王子
(サ高住)



↑ココファン・ナーサリー柏の葉
(認可保育所)

(百万円)

	‘11年 9月期	‘12年 9月期	増減	増減率
売上高	2,040	2,827	+787	+38.6%
営業利益	141	△190	△332	—
(営業利益率)	(7.0%)	(△6.7%)	—	—

●2012年9月期 前期比増減要因

〔売上高〕

- ・サービス付き高齢者向け住宅(サ高住)13ヶ所、保育施設4ヶ所の開業による増加
- ・前期開業の通年稼動による増加

〔営業利益〕

- ・開業ペース引き上げによる開業費用の増加

セグメント別業績 ⑤その他

●事業概要

- ・家庭や職域向けに、乳幼児から小・中・高校生対象の家庭学習用教材等の販売
- ・物流サービスの提供
- ・文具・雑貨の製作・販売
- ・就職支援サービスの提供 等



↑ ベスト図解百科(家庭訪問販売事業)



↑ グリーティングカード(文具・雑貨事業)

(百万円)

	‘11年 9月期	‘12年 9月期	増減	増減率
売上高	9,112	8,641	△470	△5.2%
営業利益	△74	△19	+55	—
(営業利益率)	(△0.8%)	(△0.2%)	—	—

●2012年9月期 前期比増減要因

〔売上高〕

- ・文具・雑貨事業でのキャラクター商品や知育玩具の売上減
- ・物流事業での受託減少 等

〔営業利益〕

- ・家庭訪問販売事業の損失改善 等

連結貸借対照表

(百万円)

	'11/9月末	'12/9月末	増減
流動資産	41,264	41,587	+323
固定資産	17,920	19,148	+1,227
資産合計	59,184	60,735	+1,551
流動負債	17,538	16,840	△698
固定負債	14,166	14,362	+195
負債合計	31,705	31,202	△503
純資産	27,478	29,533	+2,054
負債・純資産合計	59,184	60,735	+1,551

■現預金の増加(+1,432百万円) ※現預金期末残高 13,444百万円
※連結キャッシュフロー計算書参照

■売掛金の減少(△581百万円)
・出版事業4Q前期比売上減

■棚卸資産・仕掛品の減少(△470百万円)
・主に出版事業

■投資有価証券の増加(+670百万円)
・ユーミーケア株式取得
・市進HD株式取得

■有形固定資産の増加(+377百万円)
・サ高住開設による増加

■ソフトウェアの増加(+255百万円)
・基幹システム等の開発

■支払手形・買掛金の減少(△614百万円)
・出版事業4Q前期比売上減

■利益剰余金の増加(+1,197百万円)
・当期純利益(+1,536百万円)
・配当金による利益処分(△338百万円)

■自己株式第三者割当(+505百万円)

■その他有価証券評価差額金(+308百万円)

連結キャッシュフロー計算書

(百万円)

	'12年9月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,911
税金等調整前当期純利益	2,222
減価償却費	937
売上債権の減少	439
仕入債務の減少	△607
その他	△80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,305
有形・無形固定資産の取得による支出	△1,495
有形・無形固定資産の売却による収入	401
その他	△210
財務活動によるキャッシュ・フロー	△134
長期借入れによる収入	624
長期借入金の返済による支出	△695
自己株式の売却による収入	502
配当金支払額	△338
その他	△225
現金・現金同等物増減額	1,468
現金・現金同等物期末残高	13,066

■出版事業4Q前期比売上減

■有形固定資産の取得(△1,015百万円)
・サ高住開設
・進学塾校舎開設

■無形固定資産の取得(△480百万円)
・教室・塾事業ソフトウェア開発費
・基幹システム開発費

■有形固定資産の売却
・サ高住開設予定用地及び建物売却

■サ高住開設による借入

■第三者割当自己株式処分
・割当先:市進HD

2013年9月期業績見通し

(百万円)

	‘12年9月期 実績	‘13年9月期 見通し	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	80,659	84,500	+3,841	+4.8%
営業利益	2,245	2,300	+55	+2.4%
(営業利益率)	(2.8%)	(2.7%)	(△0.1%)	—
当期純利益	1,536	1,600	+64	+4.1%

■ 売上高

「高齢者福祉・子育て支援事業」でのサービス付き高齢者向け住宅や
保育施設の開業による伸長 等

■ 営業利益

サービス付き高齢者向け住宅や保育施設の開業数増、及び本社部門
強化による経費増等で利益微増

2013年9月期業績見通し(セグメント別)

(百万円)

セグメント名	項目	‘12年9月期 実績	‘13年9月期 見通し	前期比 増減額	前期比 増減率
教育ソリューション事業	売上高	69,190	69,200	+10	+0.0%
	営業利益	2,454	2,450	△4	△0.2%
	教室・塾事業	売上高	20,942	+258	+1.2%
		営業利益	972	+138	+14.2%
	出版事業	売上高	32,667	+33	+0.1%
		営業利益	1,032	+28	+2.7%
	園・学校事業	売上高	15,581	△281	△1.8%
		営業利益	450	△170	△37.8%
高齢者福祉・ 子育て支援事業	売上高	2,827	7,700	+4,873	+172.4%
	営業利益	△190	△150	+40	—
その他	売上高	8,641	7,600	△1,041	△12.0%
	営業利益	△19	0	+19	—
調整額	売上高	—	—	—	—
	営業利益	△0	—	+0	—
合計	売上高	80,659	84,500	+3,841	+4.8%
	営業利益	2,245	2,300	+55	+2.4%

2013年9月期業績見通し(セグメント別前期比) (百万円)

セグメント名	項目	増減額	主な要因
教室・塾事業	売上高	+258	・学研教室、CAIスクールの伸長 ・進学塾の伸長
	営業利益	+138	・売上増による利益増 ・教材改訂製作費の減少
出版事業	売上高	+33	
	営業利益	+28	
園・学校事業	売上高	△281	・前期教師用指導書売上の反動減
	営業利益	△170	・売上減による利益減
高齢者福祉・ 子育て支援事業	売上高	+4,873	・サ高住、保育園開業による伸長 ・(株)ユーミーケア子会社化による売上増
	営業利益	+40	・売上増による利益増 ・サ高住、保育園の開業数増加及び本社部門強化による経費増
その他	売上高	△1,041	・家庭訪問販売事業の売上減 ・物流事業の物流受託減少
	営業利益	+19	・経費削減による損失改善

学研グループ2ヵ年計画 「Gakken2013」 進捗報告

**株式会社学研ホールディングス
代表取締役社長 宮原 博昭**

学研グループ 2ヵ年計画

2つの基幹事業

- ①教育ソリューション事業（教室・塾事業、出版事業、園・学校事業）
- ②高齢者福祉・子育て支援事業




●安定した利益の確保

●成長が期待できる分野への積極展開



将来の飛躍に向けた基盤整備

（百万円）

		‘11年9月期	‘12年9月期	‘13年9月期
’11年11月 発表時	売上高	80,249	80,500	82,500
	営業利益	1,927	2,000	2,300
今回見通し	売上高	80,249	 80,659	 84,500
	営業利益	1,927	 2,245	2,300

2013年9月期業績見通し(セグメント別2ヵ年計画比) (百万円)

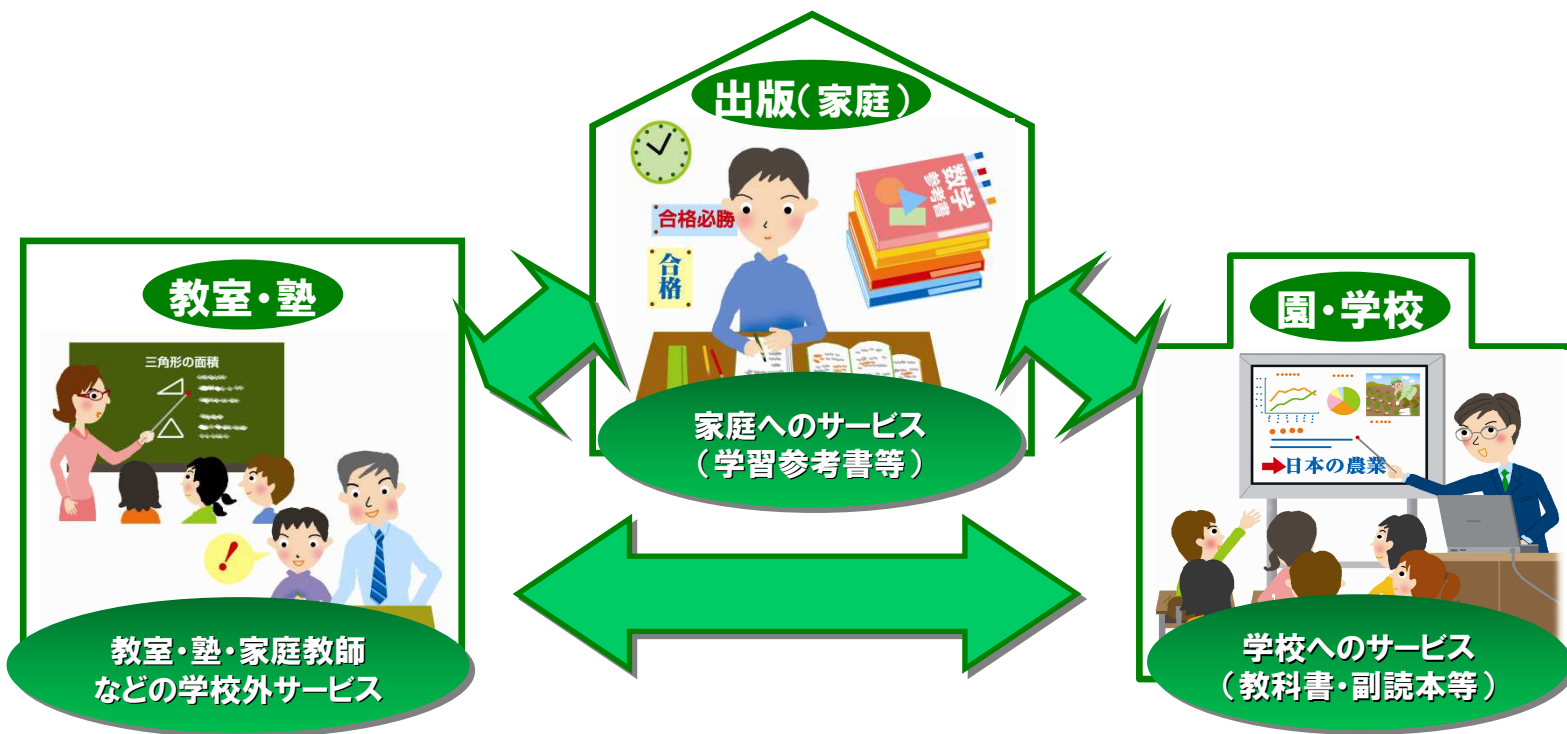
セグメント名	項目	‘12年9月期			‘13年9月期			
		2ヵ年計画	実績	増減	2ヵ年計画	見通し	増減	
教育ソリューション事業	売上高	68,200	69,190	+990	68,200	69,200	+1,000	
	営業利益	1,930	2,454	+524	2,100	2,450	+350	
	教室・塾事業	売上高	20,400	20,942	+542	20,500	21,200	+700
		営業利益	930	972	+42	1,100	1,110	+10
	出版事業	売上高	32,100	32,667	+567	32,000	32,700	+700
		営業利益	700	1,032	+332	800	1,060	+260
	園・学校事業	売上高	15,700	15,581	△119	15,700	15,300	△400
		営業利益	300	450	+150	200	280	+80
高齢者福祉・子育て支援事業	売上高	3,300	2,827	△473	5,200	7,700	+2,500	
	営業利益	70	△190	△260	100	△150	△250	
その他	売上高	9,000	8,641	△359	9,100	7,600	△1,500	
	営業利益	0	△19	△19	100	0	△100	
調整額	売上高	—	—	—	—	—	—	
	営業利益	—	△0	△0	—	—	—	
合計	売上高	80,500	80,659	+159	82,500	84,500	+2,000	
	営業利益	2,000	2,245	+245	2,300	2,300	—	

2013年9月期業績見通し(セグメント別2ヵ年計画比) (百万円)

セグメント名	項目	増減額	主な要因
教室・塾事業	売上高	+700	・学研教室、CAIスクール、進学塾の伸長
	営業利益	+10	・校舎開設費用、教育ICT関連事業投資増
出版事業	売上高	+700	・美容健康関連商品の好調維持
	営業利益	+260	・売上増による利益増
園・学校事業	売上高	△400	・副読本の減少
	営業利益	+80	・経費削減による改善
高齢者福祉・子育て支援事業	売上高	+2,500	・(株)ユーミーケア子会社化
	営業利益	△250	・開設時期・入居率推移の見直し ・本社部門強化による経費増
その他	売上高	△1,500	・家庭訪問販売事業の売上減 ・物流売上の減少
	営業利益	△100	・売上減による利益減

基幹事業① 教育ソリューション事業

グループの連携で強みを生かし、
安定した利益を創出



「3つの方向性(デジタル、教育ICT、グローバル)」でさらに伸長

デジタル分野/教育ICT分野の取り組み



外部環境

- 「iPad」をはじめとするタブレット型PCの浸透
- 電子書籍端末「kobo」「kindle」が相次いで発売

電子書籍時代の幕開け
ICT教育市場の創出

★ デジタル分野

- デジタル化が困難なジャンルを除き、新刊書籍での100%デジタル化
- 電子書籍コンテンツは約2000点、電子雑誌も出版社最多の16誌を提供
- 『ぴよちゃんのおともだち』を皮切りに次世代絵本、次世代教材の開発

★ 教育ICT分野

- デジタル学習教材「学研ビクトリーコース」を5月開始
- タブレット付デジタル学習教材サービス「学研 i コース」を来年3月開講

「学研 i コース」 2013年3月開講

特長① 全国の学研教室にタブレットを配備し、算数の補助教材として利用(会員無料)

● タブレットを活用した学習機会の提供

▶ **教育ICT市場の創出**

● 学習意欲向上、理解度向上による顧客満足向上

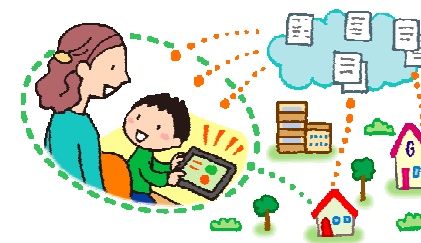
▶ **学研教室会員数の向上**



特長② タブレット付きデジタル学習教材サービスの開始

▶ **家庭教育市場への参入**

▶ **学研教室への入会契機**

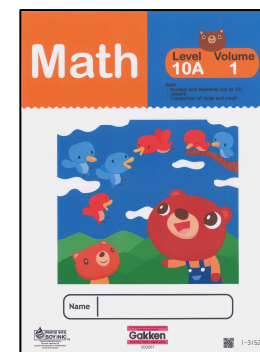


グローバル展開の取り組み

アジア市場への展開を推進



↑ 中国版CAPA



↑ 算数教室教材
(英語版)



↑ 科学実験教室の様子

Gakken

主な提携企業と内容

成長戦略実現に向けた事業提携を積極的に推進

提携先	内容
 NTTグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・ドコモゼミへの学習コンテンツ提供 ・教育ICT授業の共同研究
	<ul style="list-style-type: none"> ・学研教室卒業会員の紹介 ・eラーニング教材の提供
	<ul style="list-style-type: none"> ・学研教室Z会コースを展開
 市進教育グループ <small>学び MAX 市進のえらべる教育システム</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・映像授業の当社グループ進学塾への導入 ・市進グループの校舎で幼児・科学教室展開 ・学習指導プログラム付き学童サービスを共同で立ち上げ

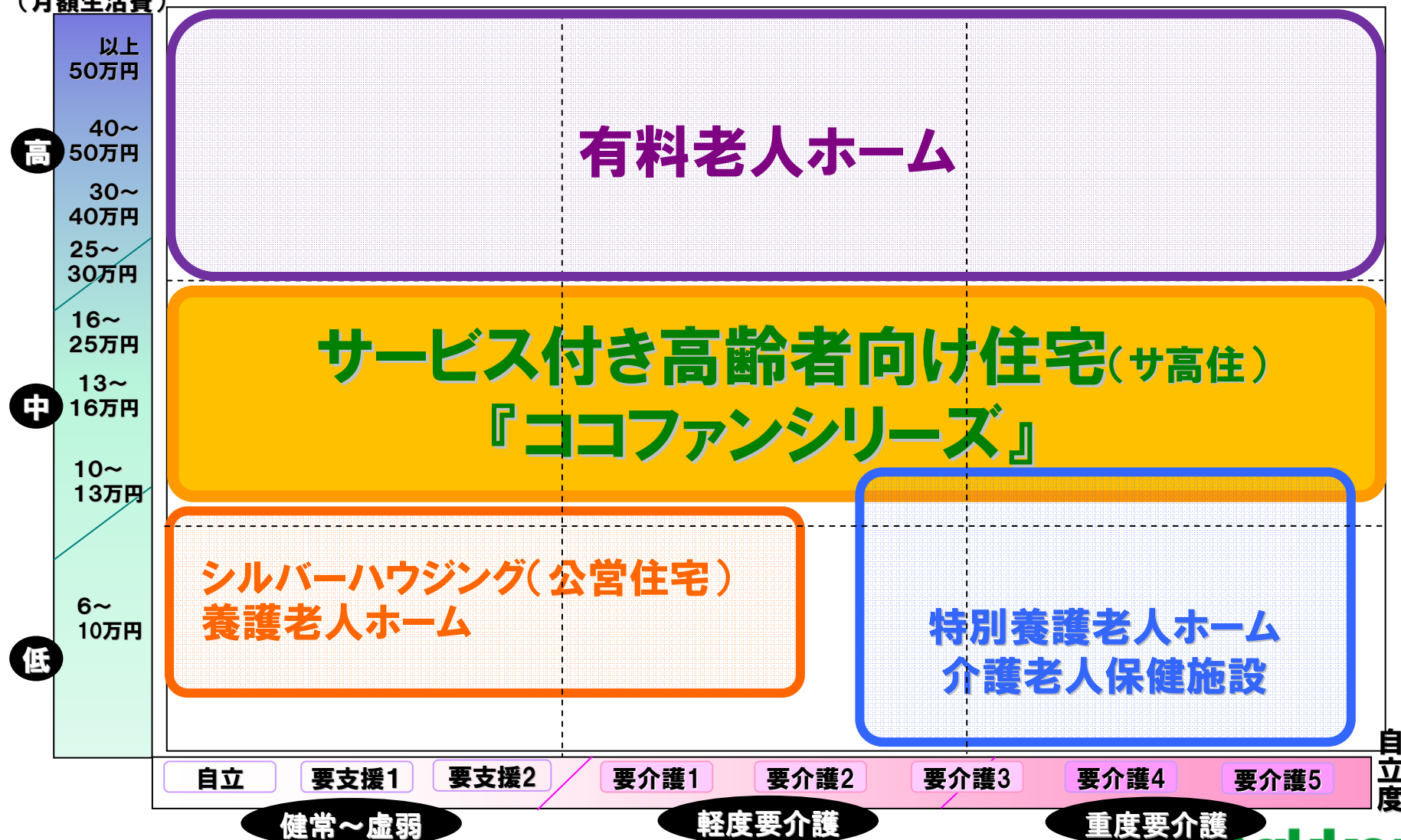
基幹事業②

高齢者福祉・子育て支援事業 について

株式会社学研ココファンホールディングス
代表取締役社長 小早川 仁

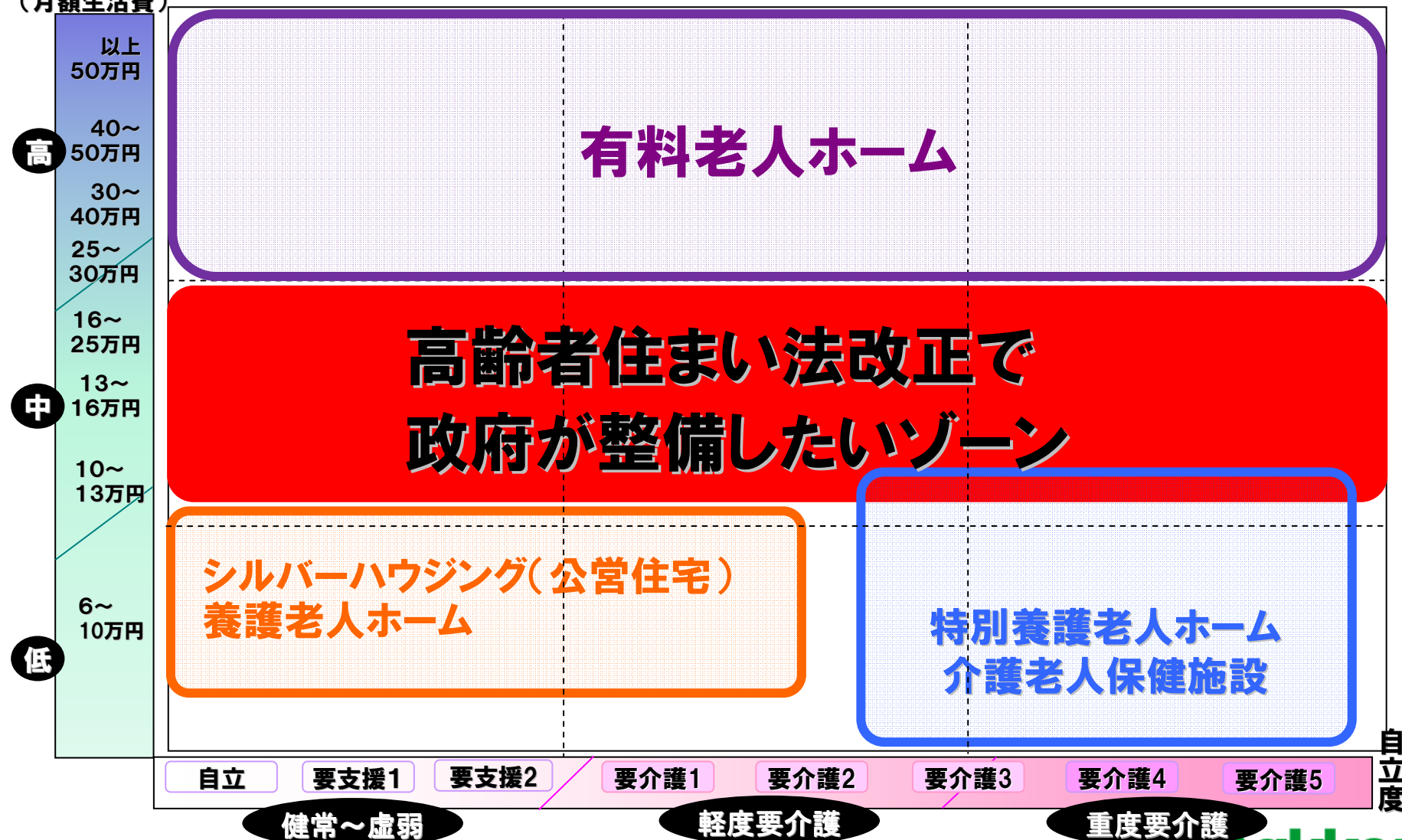
ココファンシリーズの差別化戦略 ポジショニング

自己負担可能額
(月額生活費)

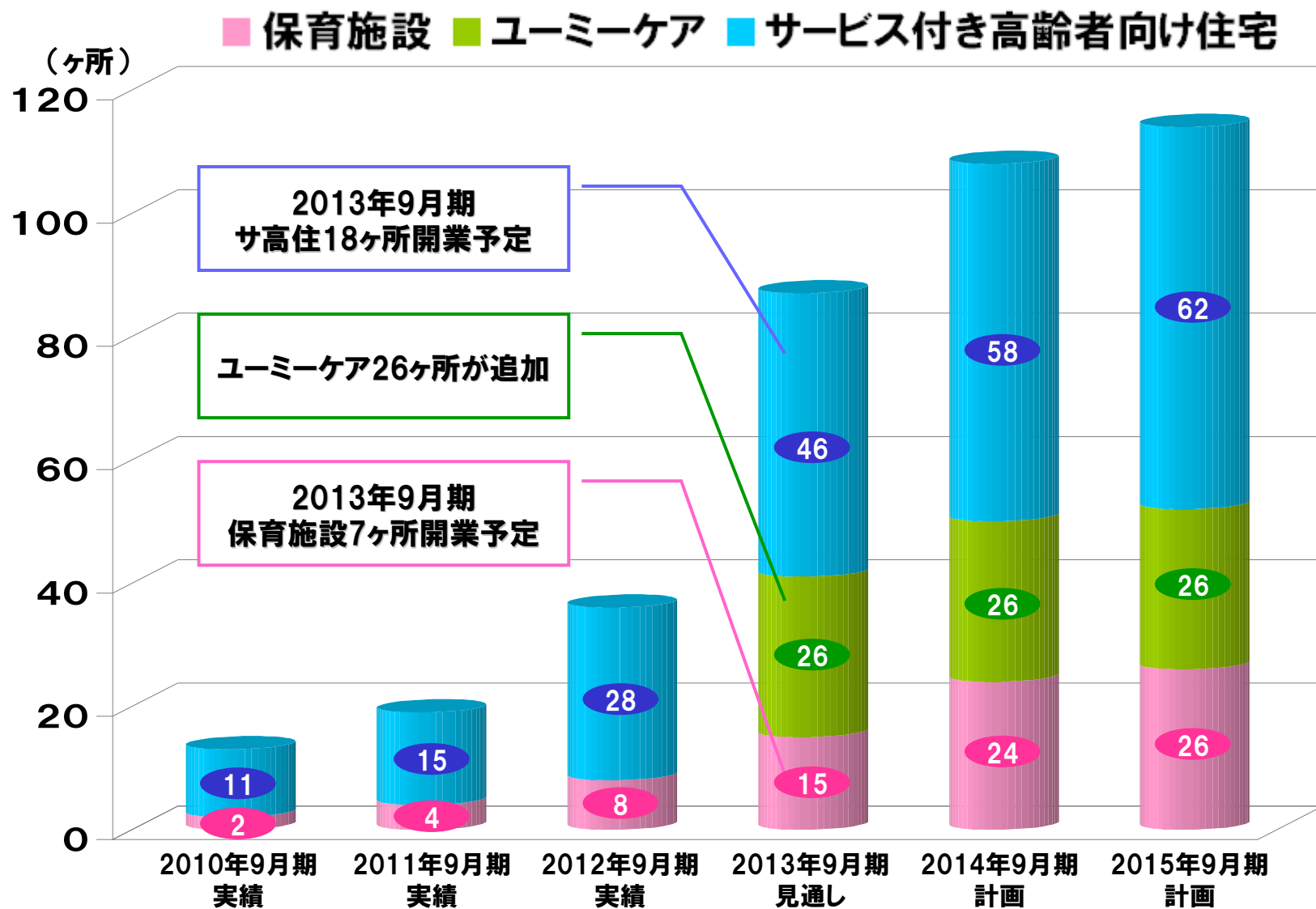


ココファンシリーズの差別化戦略 ポジショニング

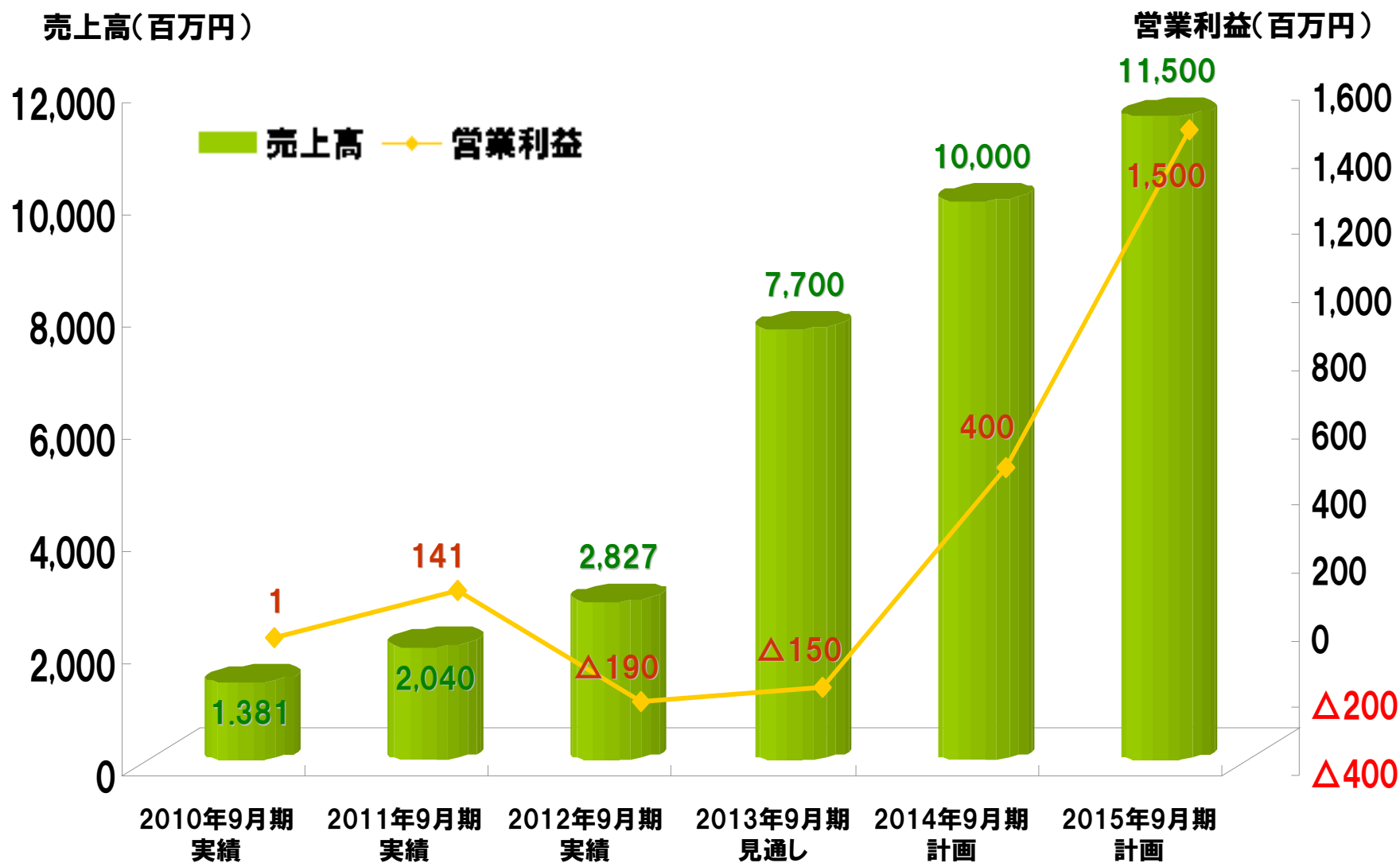
自己負担可能額
(月額生活費)



拠点数および今後の開設計画



高齢者福祉・子育て支援事業 売上高・利益計画



2013年9月期の主な施策

1. 地方都市での展開

- 2012年11月 熊本県熊本市にサービス付き高齢者向け住宅「ココファン神水(くわみず)」を開業
- 2013年 8月 大阪府八尾市に開業予定

2. 低価格モデルの投入

- 2012年 9月 サービス付き高齢者向け住宅「ココファン柏たなか」を開業
- 標準月額モデル160,000円台を130,000円台で提供

3. (株)ユーミーケアの子会社化

- アッパーミドル層向け高機能サービスモデルの実現
- 湘南地区のドミナント展開ノウハウをココファンモデルに活用

4. 地域包括ケアモデルの構築

- 柏豊四季台団地に2014年春開業予定
- 高齢者が在宅で安心して暮らせる「まちづくり」の実現

END

当資料には、当社及び当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。

これらの記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため様々な要因の変化により、実際の業績は、当社の見込みとは異なる可能性があります。